

1999年より毎年開催している「Just Composed in Yokohama～現代作曲家シリーズ～」では、日本の作曲家への委嘱と再演を趣旨に毎回新しいテーマで音楽をお届けしています。

今回は能の謡(うたい)にスポットを当て、近年、国内外から注目を集めている青木涼子(能)と弦楽四重奏との共演をお聴きいただけます。弦楽四重奏は横浜みなとみらいホール初登場の成田達輝をはじめ、国内外で活躍する若手精鋭メンバーが本公演のために集結!この日にしか聴くことのできない演奏をどうぞお楽しみに!

選定委員：青木涼子、白石美雪
池辺晋一郎



青木涼子 / 能

東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽専攻卒業(観世流シテ専攻)。同大学院音楽研究科修士課程修了。ロンドン大学博士課程修了(Ph.D取得)。平成26年度文化庁新進芸術家海外研修員。湯浅謙二、一柳慧、ペーテル・エトヴェシュ、細川俊夫など、世界の主要な作曲家と共同で、能と現代音楽の新たな試みを行っている。2010年より世界の作曲家に委嘱するシリーズを主催しており、2014年にはデビューアルバム「能×現代音楽」(ALCD-98)をリリースした。日本だけでなくドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ハンガリー、アメリカの音楽祭に招待されパフォーマンスを行っている。世界的なオペラ・ハウスへの出演も果たしており、2013年マドリッド、テアトロ・レアル王立劇場にジェラルド・ホルティエのキャストイングのもと、ヴォルフガング・グリーム作曲オペラ《メキシコの征服》(ビエール・オーディ演出)のマリンチェ役でデビュー、各紙で絶賛された。平成27年度文化庁の文化交流使に指名され、ヨーロッパで活動を行った。あいちトリエンナーレ2016で、オレリアン・デュモン作曲オペラ《秘密の闇》に主演した。

Ryoko Aoki / Noh



成田達輝 / ヴァイオリン Tatsuki Narita / Violin

2010年ロン＝ティボー国際コンクール第2位、あわせてリサイタルで優秀な演奏をした音楽家に与えられる「ササム賞」を受賞。2012年にはエリザベート国際コンクール第2位及びヴィザイ賞を受賞。これまでに、オルレアン響、ブリュッセル・フィル、カントロフ&ドウエ管、クリヴィス&ルクセンブルク・フィル、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィル、新日本フィル、日本フィルなど国内外のオーケストラと共演。ピアニスト萩原麻未、中野翔太とのリサイタルも各地で好評を得ている。ジャンルを超えた活動にも意欲的で、バレエ・ダンサーとのコラボレーション、詩の朗読、美術鑑賞などにも興味を持っている。ホテル・オークラ音楽賞、出光音楽賞、上毛芸術文化賞、道銀芸術文化奨励賞を受賞。使用楽器は、ストラディヴァリウス1711年製「Tartini」(宗次コレクションより貸与)、およびガルネリ・デル・ジェズ1738年製「ex-William Kroll」(匿名の所有者より貸与)。



百留敬雄 / ヴァイオリン Takao Hyakutome / Violin

札幌市生まれ。2003年渡欧しオランダのマスターヒト音楽院、並びにベルギーのアントワープ王立音楽院でヴァイオリンと作曲の研鑽を積み、2009年同音楽院の修士課程を「最優秀」の成績で卒業。ヴァイオリンの特殊奏法を熟知し、複雑な譜面も正確に弾きこなす演奏技術、確固たる独自の音楽性、5弦ヴァイオリンの使用などが評価され、多くの作曲家達から厚い信頼を受けている。これまでに初演した楽曲数は100を超えUltraschall(ドイツ)、Biennale Musiques en Scène(フランス)、ME_MMIX(スペイン)、Forum Wallis(スイス)、Transit(ベルギー)、NUNC(アメリカ)など各地の現代音楽祭で、ヴァイオリン・ソロ、並びにアンサンブルの作品を初演、再演し好評を博す。



安達真理 / ヴィオラ Mari Adachi / Viola

桐朋学園大学在学中にヴィオラに転向。卒業後、同大学研究生修了。2009年よりオーストリア、ウィーンに渡る。ウィーン国立音楽大学室内楽科を経て、2013年、スイス、ローザンヌ高等音楽院修士課程を最高点で修了。2015年、同音楽院ソリスト修士課程を修了。2013年よりオーストリアのインスブルックのインスブルック交響楽団にて2年間副首席ヴィオラ奏者を務める。バーデンバーデン管弦楽交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団と共演。2011年よりカメラータ・デ・ローザンヌのメンバーとして、ピエール・アモイヤル氏と共に、世界各地で多数の公演を行う。バンベルク交響楽団に首席ヴィオラ奏者として客演、パーヴォ・ヤルヴィ氏が芸術監督を務めるバルヌ音楽祭に出演するなど国内外で活躍している。ヴェルビエ国際音楽祭にて、アマチュアの人たちの室内楽のレッスンにあたるなど、指導者としても活動をしている。



上村文乃 / チェロ Ayano Kamimura / Cello

6歳よりチェロを始める。第7回日本演奏家コンクール弦楽器中学生部門1位及び芸術賞。第15回日本クラシック音楽コンクール全国大会中学生部門にて最高位。第5回東京音楽コンクール弦楽器部門第2位。第4回ルーマニア国際音楽コンクール弦楽器部門第1位およびルーマニア大使館賞受賞。第80回日本音楽コンクール第2位。第65回全日本学生音楽コンクール大学の部第1位。第30回霧島国際音楽祭に奨学生として参加し、霧島国際音楽賞を受賞。東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、JTアートホール室内楽シリーズ等に出演。チェロを毛利伯郎・堤剛・アルト・ノラスの各氏に、室内楽を原田幸一郎、徳永二郎、カール・テット・エクセルシオの各氏に師事。桐朋学園大学ソリストディプロマコース卒業。現在ハンブルグ音楽演劇大学を経てパーゼル音楽院に留学中。2015年9月より、文化庁新進芸術家海外研修生および公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。

■作曲家プロフィール



馬場法子 Noriko Baba

新潟生まれ。東京芸術大学音楽学部作曲科、同大学院修了後渡仏。パリ国立高等音楽院を最優秀(旧一等賞)にて卒業。フランス国立音響音楽研究所研究員、ロワイヨモン財団招聘。Academie Schloss Solitudeのアーティスト・イン・レジデンスに招聘されシュトゥットガルトに1年滞在、フランス学士院・教育省の芸術家派遣に選出されCasa de Velazquez(Academie de France a Madrid)に2年滞在する。また仏外務省の「ヴァイラ九条山」に日本人として初めて派遣され京都に滞在。日本音楽コンクール2位、仏学士院Georges Wildenstein賞受賞、武生国際作曲賞受賞。作品はAgora、Die Reich、Archipel、World Music Day、ISCM、Musica、Paris de la musique、Milano Musica、Biennale di Venezia、Ars Musicaなど様々なフェスティバルにて委嘱・演奏されている。Ensemble Intercontemporainによる「Pororoca」はARTEにて放映されている。



斉木由美 Yumi Saiki

愛知県立芸術大学、パリ・エコールノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院、IRCAM等で学ぶ。日本音楽コンクール、芥川作曲賞等を受賞。これまでに、N響、読響、名古屋フィル、Music from Japan、サントリー芸術財団等の団体や多くの演奏家から委嘱を受け新作を発表。主要作品は、オーケストラ、現代音楽のアンサンブル、優れた演奏家たちによって、アジア、欧米の音楽祭や演奏会で紹介されている。近年は2014年室内楽作品個展、2015年は2枚の自作CDをリリース、2016年は「Die Mütter/母たち～パイオルガンのための」がミュゼ・川崎シンフォニーホールで世界初演された。現在、国立音楽大学および大学院講師。

ちょこっとプログラム紹介

- **ベートーヴェン：大フーガ 変ロ長調 Op.133**
1825～1826年、晩年に作曲された弦楽四重奏曲。元は弦楽四重奏曲第13番 Op.130の終楽章として作曲されたが、後に独立した一曲としてルドルフ大公に捧げられた。ベートーヴェンはJ.S.バッハの作曲技法を学び、作品の随所にその影響が見られる。この曲も「フーガ」を用いた約16分に及ぶ名作として演奏される機会が多い。
- **ジェルヴァゾーニ：「夜の響き、山の中より」**
ステファノ・ジェルヴァゾーニは1962年ベルガモ(イタリア)生まれの現代イタリアを代表する作曲家。この曲は西行法師(1118-1190)の詩を基に作られた、謡と弦楽四重奏のための作品。2016年9月1日、イタリア文化会館にて青木涼子とディオティマ弦楽四重奏団によって初演された。
- **斉木由美：新作「Deux sillages」を基にした弦楽四重奏曲**
第1回Just Composed(1999年7月17日、神奈川県立音楽堂にて開催)の委嘱作品を基にした弦楽四重奏のための新作。原曲は8名の奏者(ヴァイオリン2本、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ピアノ、打楽器)のための作品で、東京シンフォニエッタによって初演された。原曲のタイトル「Deux sillages」はフランス語で「2つの航跡」という意味。
- **馬場法子：謡と弦楽四重奏のための新作**
フランスを拠点に活動する馬場法子は、青木涼子が信頼する作曲家の一人。これまでも謡を入れた作品を国内外で発表している。今回の新作は、能楽作品のひとつ「羽衣」から4つの光景を切り取って創作された。僅か10分のミニ・オペラである。漁師の集う浜の喧騒、松風、天女の衣摺れ…様々な現象を音に乗せ、観客を想像の世界に誘う。

Miraist Clubのご案内

Miraist Club(みらいすとクラブ)メンバーはホール主催公演などのチケットの割引、先行発売のサービスはもちろん、魅力的な特典を毎月お楽しみいただけます。ぜひ資料をご請求ください。Miraist Club事務局 045-682-2025(10:00～18:00)

■託児サービス

生後6ヶ月から学童までのお子様を、お預かりする託児サービスがございます。予約制先着10名様・お一人様2,100円(税別)。公演の3ヶ月前から5日前までの予約受付。
【お問合せ・ご予約】株式会社 明日香(あすか)
045-316-5539(月～金:9:00～17:00/土:9:00～12:00/日・祝・休)

横浜みなとみらいホール
【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】
〒220-0012横浜市西区みなとみらい2-3-6
TEL:045-682-2020 FAX:045-682-2023
http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php @yokohamammh

交通のご案内

- みなとみらい駅(東急東横線直通みなとみらい線)下車、徒歩3分。
「クイーンズスクエア横浜連絡口」改札(地下3階)より左方向。クイーンズスクエア横浜内の吹き抜けエスカレーター(赤)を1階まで上り左方向、クイーンモール左奥。
- 桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線・横浜市営地下鉄)下車、徒歩12分。
みなとみらい方面の「動く歩道」から、ランドマークプラザ経由(3階から1階へ)でクイーンズスクエア横浜、クイーンモール左奥。

